

FTAをめぐる世界の動き

平成16年12月

経済産業省

米州における動向



米州自由貿易地域(FTAA)

(キューバを除く34か国で構成)

- ・マイアミでの閣僚会議(2003年11月)では、全加盟国共通で適用される最低限の義務を定め(FTAA lite)、それ以上の自由化等の約束については、加盟国間で個別に交渉することで一致。(いわゆるアラカルト方式)
- ・2005年1月までの協定締結、2005年12月までの発効を目指す。(ただし、米州特別首脳会議(2004年1月)の首脳宣言では、期限を明記できず。)

NAFTA
米、加、墨

DR - CAFTA
米、エルサルバドル、コスタリカ、ホンジュラス、ニカラグア、グアテマラ、ドミニカ共和国

アンデス共同体
コロンビア、ペルー、ボリヴィア、エクアドル、ヴェネズエラ

MERCOSUR
・アンデス共同体 FTA
・2003年12月、協定締結。

米国・チリ協定

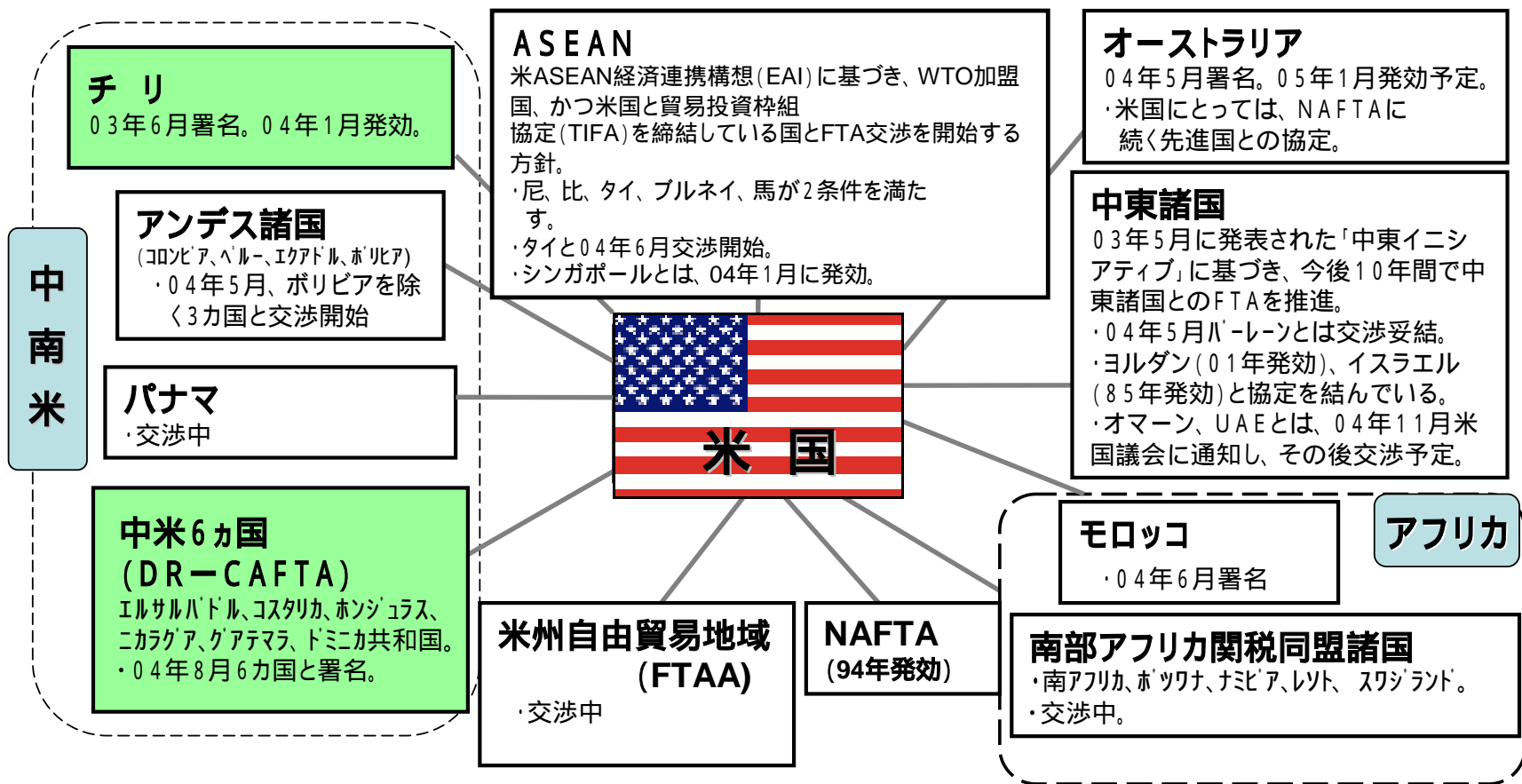
- ・2004年1月発効。
(チリは、カナダ、メキシコとも締結)

南米南部共同市場(MERCOSUR)
アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ

米国の動向

・米国はこれまで、北米自由貿易協定 (NAFTA) 並びにヨルダン及びイスラエルそれぞれとの二国間FTA 以外にはFTA を締結していなかったが、02年8月の2002年通商法 (貿易促進権限 (TPA) を含む。) の成立の後、FTA戦略を明確化し、チリ、シンガポールを始めとして FTA 交渉を積極的に展開。さらに03年9月のWTOカンクン会合が合意に至らなかったことにより、この動きを加速させている。

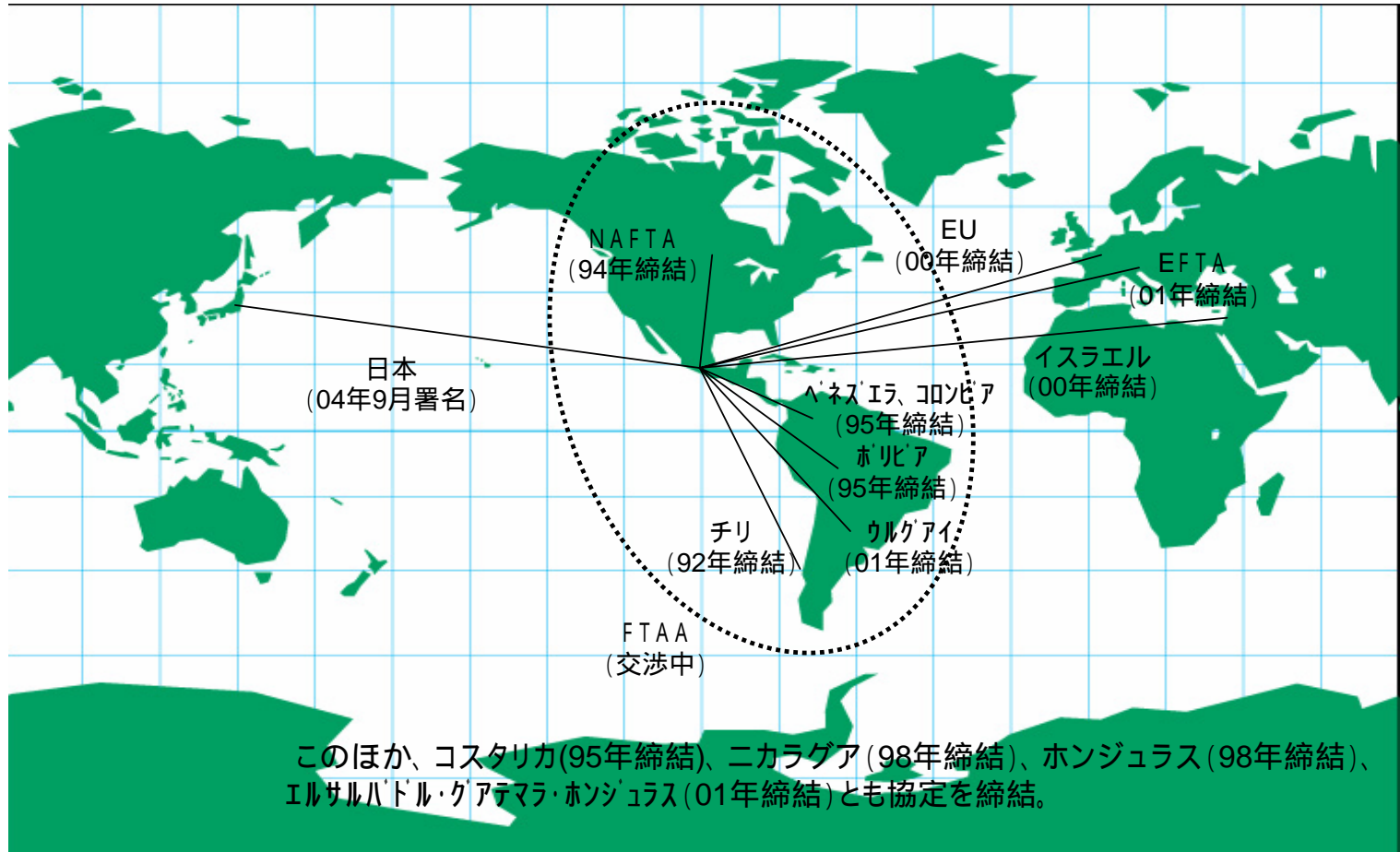
・FTA相手国を選択する基準として、新市場の開放 (チリ、シンガポール)、安全保障の推進 (モロッコ、豪州)、開発・民主主義の促進 (南部アフリカ、中米諸国等)、西半球の繁栄・経済安全保障の推進 (FTAA) 等を挙げている (2002年10月ゼーリック通商代表)。



メキシコの協定締結状況

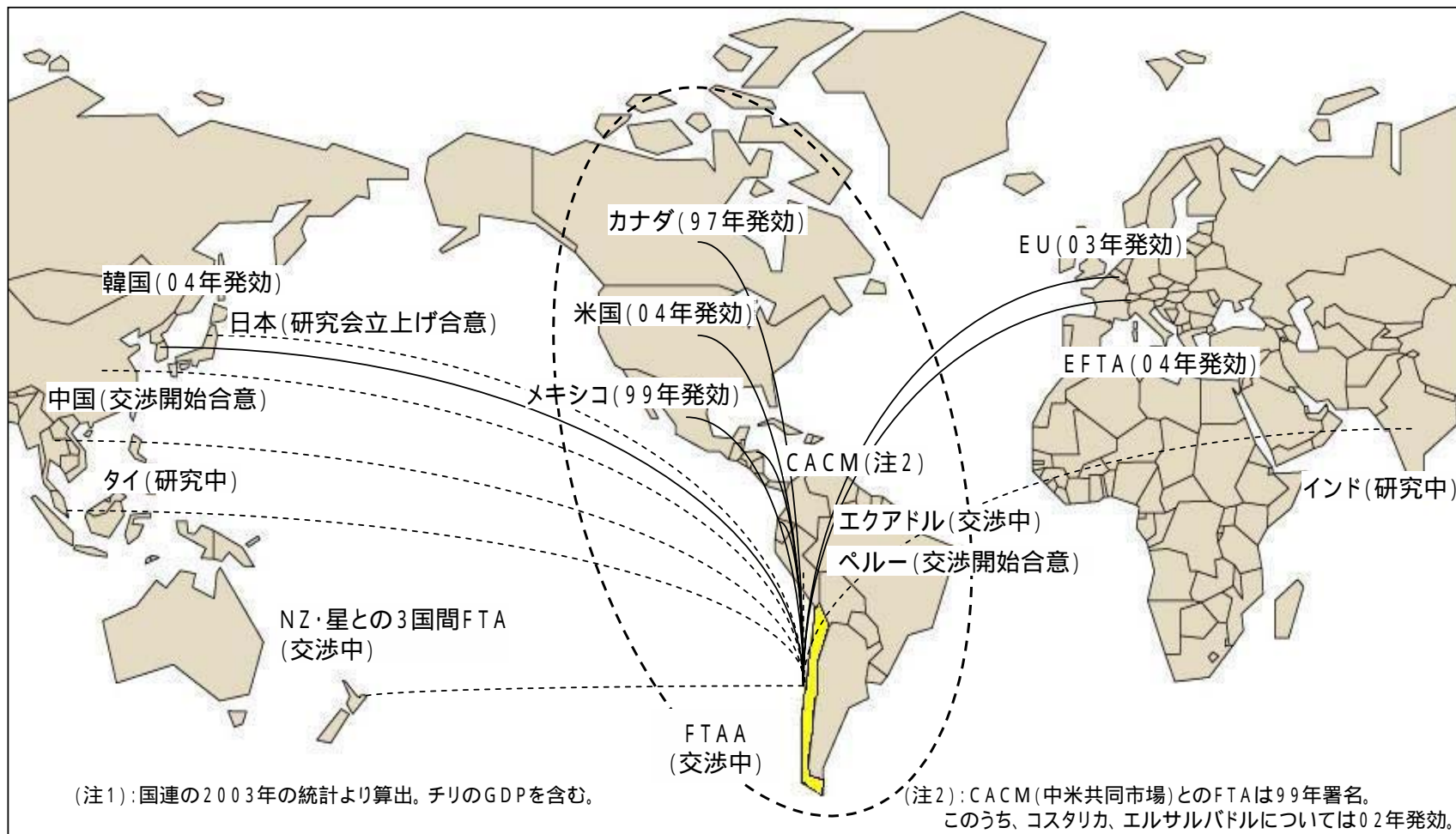
・NAFTAをきっかけとして、FTA締結を加速。

・墨国内では、FTAへのネガティブな雰囲気が高まる中、同国政府は、日本とのFTAとFTAAを同国の最後の取組とするとの方針を発表。(2003年11月 カナレス経済大臣)

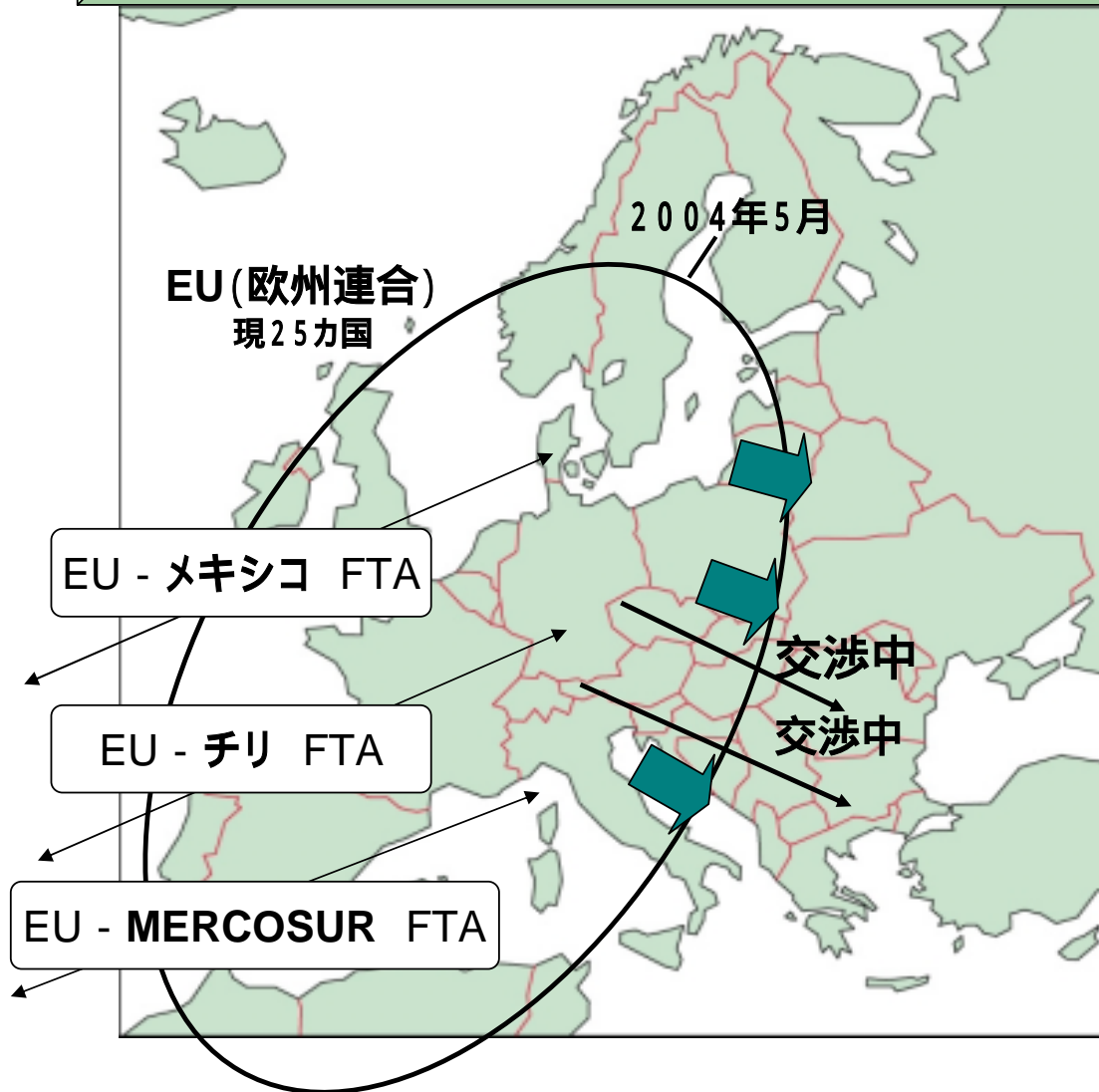


チリの協定締結状況

- ・チリとFTAを締結した国・地域のGDPを合計すると、全世界の約68%を占める。(注1)
- ・米国、EU、EFTA、韓国、カナダ、メキシコ等計35か国とFTA発効済み。
- ・2004年11月、中国とのFTA交渉を開始することで合意。



EUの動向



EU拡大の動き

- ・2004年5月に10か国が加盟し、25か国へ。
(ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア、スロベニア、エストニア、リトアニア、ラトビア、キプロス及びマルタ)
- ・ルーマニアとブルガリアについて、
2007年1月を加盟を目標に交渉中。

EUによるFTA締結の動向

- ・アフリカ・カリブ太平洋諸国 (ACP・77か国)
:コトヌ協定 (2003年4月1日発効)
2020年までの自由貿易圏形成が目標
- ・メキシコ (2000年7月1日発効)
- ・チリ (2003年2月発効)
- ・MERCOSUR (交渉中)
- ・中米5か国 (コスタリカ、グアテマラ、
ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア)
(2005年交渉開始予定)

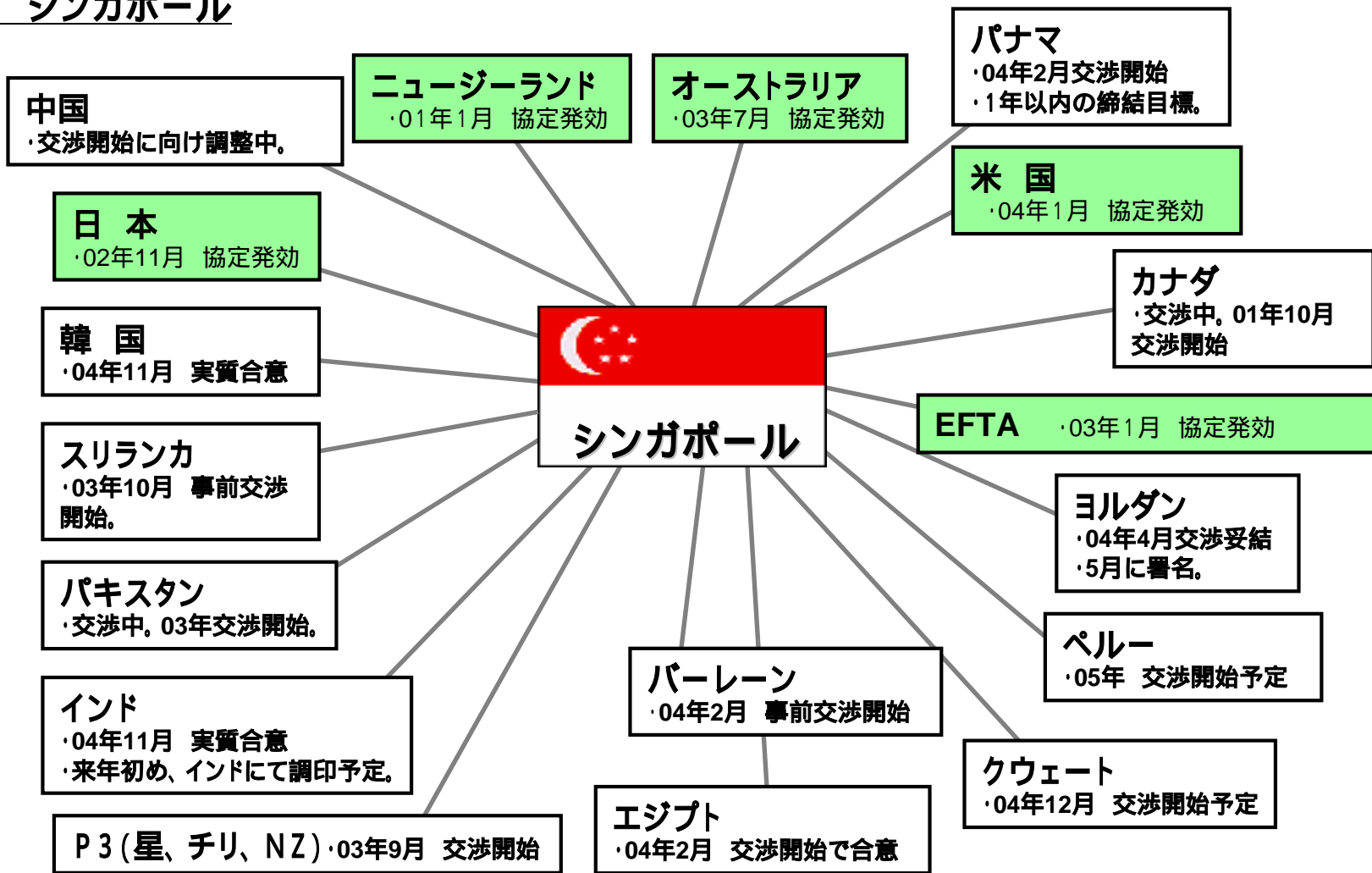
アセアンの動向

< 東アジア地域は比較的遅れていたが、近年急速に動きが活発化 >

<p>中国</p>		<p>2002年11月に、「中ASEAN包括的経済協力枠組み協定」に署名。2010年(ASEAN新加盟国は2015年)までのFTA創設を予定。農産品の一部について2004年1月1日から関税を引き下げ(アーリーハーベスト)。2004年11月、物の貿易についての協定に署名。</p>
<p>米国</p>		<p>2002年10月に発表された、米国とアセアン諸国との間のFTA締結及びそのネットワーク化に向けたイニシアティブ(Enterprise for ASEAN Initiative)に基づき、WTO加盟国であり、かつ米国との間で貿易投資枠組協定(TIFA)を締結している国と個別にFTA交渉を開始する方針。シンガポールとは、2004年1月に発効。タイとは6月末に交渉を開始。</p>
<p>インド</p>		<p>アセアン全体とは2003年10月に枠組み協定に署名。2004年1月より交渉開始。2011年(一部の国については2016年)までのFTA創設を予定(2005年6月、モノの貿易について交渉終了予定)。一部品目については2004年11月から早期に関税引き下げ予定だったが、現在調整中(アーリーハーベスト)。タイとは二国間FTAも交渉中。(2003年10月「枠組み協定」署名。)</p>
<p>EU</p>		<p>2003年4月、アセアン・EUの経済閣僚会議において、貿易・投資拡大の枠組みとして「EU - アセアン地域間貿易構想(TREATI)」に合意。2003年7月、欧州委員会はWTOドーハラウンド決着後にFTA交渉に着手すべきことを含む新戦略を採択。</p>
<p>豪州 NZ</p>		<p>2002年9月のアセアン・CER経済大臣会合において、豪・NZ(CER)とアセアンは「AFTA・CER-CEP」共同閣僚宣言(FTAは含まれない)に署名。これによりアセアンとCERの間で貿易、投資、地域経済統合を促進するためのフレームワーク構築に合意。今後、2010年までにアセアンとCER間での貿易と投資を2倍にすることを目標に各分野で協力。2004年11月に開催されたアセアン - 豪・NZ記念首脳会議においてASEAN - 豪・NZとのFTA交渉を2005年早期に開始し、2年以内に交渉終了することに合意。豪タイFTAは2004年7月署名済。</p>
<p>韓国</p>		<p>2002年11月、アセアン各国首脳は金碩洙・韓国首相にFTA交渉の開始を提案。韓国側は2003年10月の首脳会合で包括的経済連携を進めたいとの認識を示した。2004年3月より共同研究会を開始し、11月の韓アセアン首脳会議に報告書(提言)を提出。2005年初よりアセアン全体との交渉を開始し、2年以内に終了することに合意。2009年に少なくとも80%の品目について関税撤廃を目指す。また、2004年1月からシンガポールと交渉を開始。</p>

アセアン各国の動向

シンガポール



アセアン各国の動向

マレーシア

米国

・04年5月、貿易・投資枠組み協定(TIFA)を締結。
・これに基づき、合同協議会を設置。
(TIFAはFTA交渉に向けた第1ステップとされている。)

日本

・04年1月より交渉開始。

韓国

・04年8月、二国間FTAの研究を開始。
・報告書は05年初にまとめられる見込み。

パキスタン

・04年10月、特惠貿易協定(PTA)の交渉開始。
(PTAはFTA交渉に向けた第1ステップとされている)

ニュージーランド

・04年9月、二国間FTAの研究を開始。
・報告書は05年2月にまとめられる見込み。

豪州

・04年7月、二国間FTAの研究を開始。
・報告書は05年初にまとめられる見込み。



タイ

オーストラリア

・04年7月に署名。
・05年1月に発効予定。

米国

・04年6月より
交渉開始

ペルー

・03年10月「枠組み協定」署名。

バーレーン

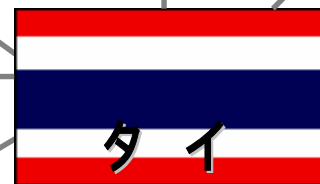
・02年12月「枠組み協定」締結。

日本

・04年2月より交渉開始。

ニュージーランド

・04年6月より交渉開始。
・04年11月実質合意。



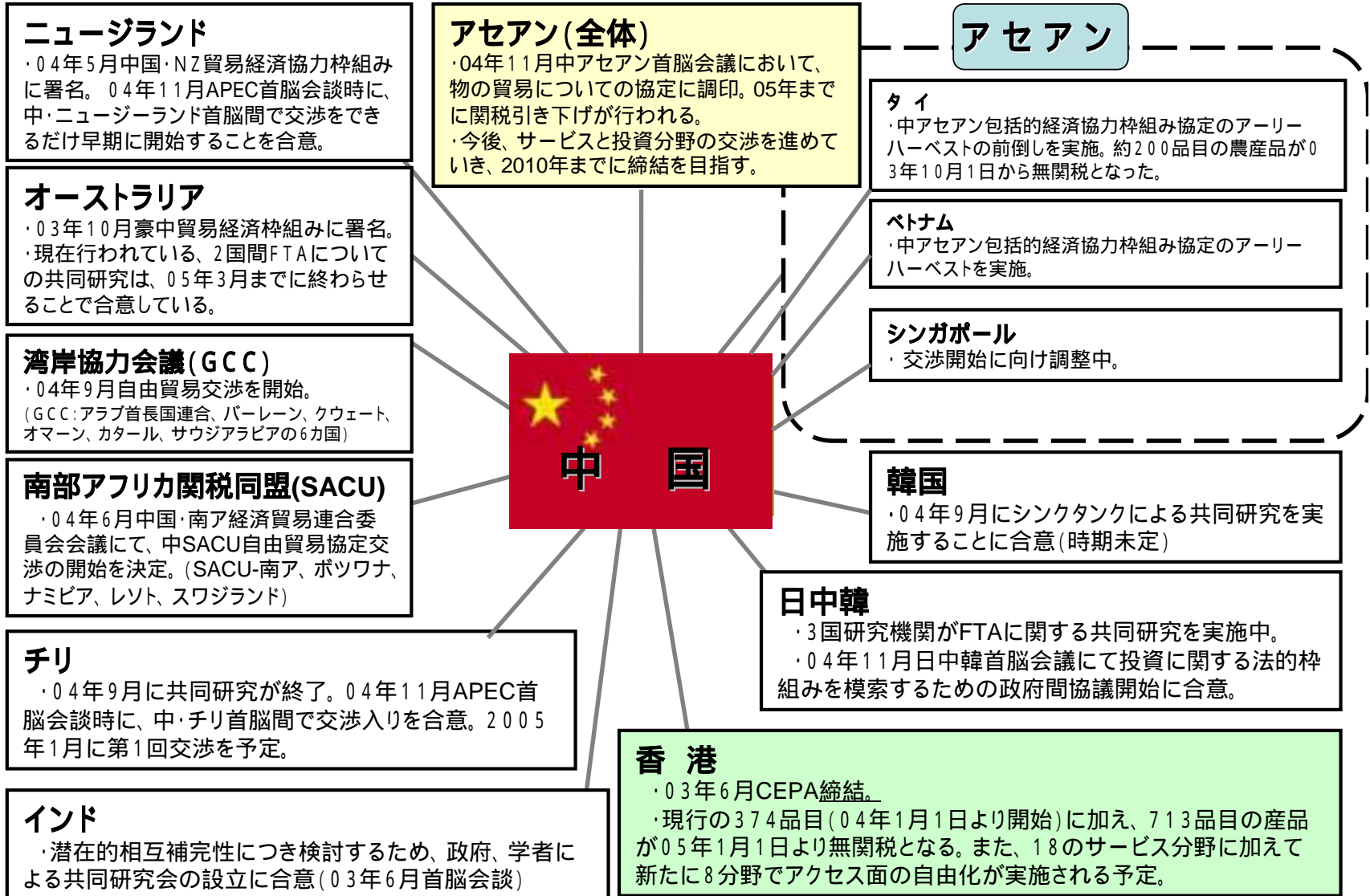
インド

・03年10月「枠組み協定」署名。
・04年9月にアーリーハーベスト方式の
関税引き下げ開始。

中国

・中ASEAN包括的経済協力枠組み協定(2002
年11月)のアーリーハーベストの前倒しを実施。

中国の動向



韓国の動向

韓国



EFTA

04年10月に第2回共同研究会が開催され、05年初めの交渉開始を勧告する共同報告書がまとめられた。

メキシコ

04年5月に共同研究の実施に合意、10月に第1回共同研究会を開催

メルコスールとも共同研究会の立ち上げを合意

中国

04年9月にシンクタンクによる共同研究を実施することで合意（時期未定）

日・中・韓

- ・3国研究機関がFTAに関する共同研究を実施中。
- ・04年11月日中韓首脳会議にて投資に関する法的枠組みを模索するための政府間協議開始に合意。

チリ 04年4月発効

6回の政府間交渉を経て締結。チリは04年1月上院を満場一致で可決、韓国は、04年2月16日に批准同意案が国会を通過、04年4月1日に公布。

品目ベースで、韓国は96.2%、チリは96.5%に相当する品目の輸入関税をそれぞれ10年以内に撤廃予定

シンガポール 実質合意(04年11月)

03年3月に産官学研究会による検討を開始。3回の研究会での検討を経て、03年10月政府間交渉入り合意。04年1月末に交渉開始し、04年10月に第5回交渉開催。04年11月韓星首脳会談にて。

日本 交渉中(04年2月交渉開始 04年に第6回交渉を開催)

ASEAN 2005年早期交渉開始予定

03年10月の韓国ASEAN首脳会議で、FTAを含む包括的な経済協力の強化方策に関する共同研究を実施することで合意、04年3月に産官学研究会による検討を開始。04年11月韓ASEANサミットにて2005年早期に交渉開始、2年以内に合意を目指すことで合意

インドの動向

ASEAN

・03年10月枠組み協定署名。交渉中。

中国

・産学官研究会を実施中。

韓国

・05年1月までに産学官研究会開始予定。

SAARC(南アジア地域協力連合)

・04年1月枠組み協定署名。

シンガポール

・04年11月実質合意。来年初め、インドにて調印予定。

BIMSTEC(ベンガル湾多分野技術経済協力イニシアチブ)

・04年2月枠組み協定締結。

タイ

・03年10月枠組み協定署名。交渉中。
04年9月にア-リ-ル-ハ-スト方式の関税引き下げ開始。

スリランカ

・締結・発効。

インド

ネパール

・締結・発効。

メルコスール

・03年6月枠組み協定締結。

ブータン

・締結・発効。

南アフリカ

・04年9月枠組み協定締結。

GCC(湾岸協力会議)

・04年8月枠組み協定署名。

エジプト

・PTA締結に向けてJoint Working Group設置を合意